



妹商高だより

85号

北海道妹背牛商業高等学校

TEL 32-2104

FAX 32-2123

平成19年3月22日発行

第55回卒業証書授与式挙行

快晴に恵まれた3月1日、第55回卒業証書授与式が挙行されました。卒業生は胸にコサージュを身につけながら入場し、式が始まりました。証書授与では、校長から33名それぞれに卒業証書が読み上げられ、手渡された卒業生らはそれぞれ門出にふさわしいいきいきとした表情をみせていました。その後、卒業生代表の本田美香さんの答辞に引き続き、卒業生全員による合唱では、3年間の思いが込み上げ、在校生、教職員とも涙ぐむ場面も。卒業生退場では、BGMの「EXILE『道』」が流れる中、卒業生は担任の辻先生、そして3年間温かく見守ってくれた保護者へ感謝の意を表し、式場を後にしていきました。



式終了後、校庭での見送りの場面では、PTA、教職員および在校生有志で製作された、卒業を祝う「雪だるま」の前で在校生や教職員と記念撮影をする場面もあり、卒業生たちは最後まで別れを惜しんでいました。

平成18年度 進路決定状況

平成18年度 卒業生33名

就職14名・進学17名・進学就職1名

(大学5名・短期大学4名・専門学校9名)

景気が回復してきていると報道されてはありますが、北海道内の求人数は増えておらず、就職は厳しい状況が続いています。(管内求人は昨年度よりも減っています。)その中で、残り1名の未決定者の就職もほぼ内定しており、全員の進路がほぼ決定しているという状況ですので、ひとまずほっとしています。

今年度の卒業生は、進路実現に向けて、とても粘り強くがんばってくれました。3つ、4つの企業を不採用になった生徒が何人もいましたが、1人もやる気を失うことなく最後までがんばり、進路決定に結びつけてくれました。また、進学でも放課後遅くまでコツコツとがんばっている生徒が目立ちました。

次年度以降も今年度の3年生を手本として、自分の進路実現に向けてがんばってくださることを期待しております。



校内カーリング大会のフォーム

卒業記念雪だるま完成!



4月行事予定

- 8日(日) 始業式・年度開始行事
- 10日(火) 自転車通学指導
- 11日(水) 常任委員会結成・個人写真撮影
- 12日(木) 身体測定・歯科検診
- 13日(金) 貧血検査
- 19日(水) 尿検査
- 24日(火) 内科検診
- 28日(土) PTA 総会・進路保護者説明会

謙虚な態度と感謝の心で困難を力強く生き抜け!!!

校長 滝田 進

春の日差しが雪融けの流れを速め、春風心地よい妹背牛の自然の大地にも息吹(いぶき)を感じる、本日の佳き日に、平成18年度第55回北海道妹背牛商業高等学校卒業証書授与式を迎えることができました。この卒業式に、お忙しい中、妹背牛町町長「加藤榮一」様、同窓会 会長「古川孝夫」様 P T A 会長「水本雅英」様をはじめ多数のご来賓の皆様と保護者のご臨席を賜り、心から感謝をいたします。改めまして、卒業されます33名の生徒の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業式を節目とし、明日から、皆さんは本校で学んだ知識や体験を礎に新たな進路先で、さらなる「夢と希望」の具現化を目指す旅立ちのスタートです。私たち教職員並びに在校生、皆さんの学舎からの巣立ちを心から祝福しております。卒業するに当たり一つの大きな期待と二つの願いをします。一つの目の期待は、21世紀の日本を支えるのは皆さんであることを自覚しましょう。日本の社会はこの数年をみても未曾有(みぞう)の時代の到来を感じます。特に、高度情報伝達の進化に伴う国際化が躊躇なく押し寄せています。このような社会変化に柔軟に対応し、力強く生きぬき、日本の成熟社会の一員として貢献願えることを期待します。一つ目の願いは、かけがいのない「自他の生命の尊厳」を重んじ、けっして、他者の人権を侵害することない社会を構築しましょう。2006年の世相を表す一文字が国民より選ばれ第一位が「命」、第三位が「生」でした。痛ましい事件・事故の発生から、人間が社会にて共存するうえで、時代がどのように変化しようと「命をもって生かされている尊さ」は、不易であることを再認識し、殺伐とした事件と事故が発生しない社会にしましょう。二つの願いは、「人としての触れ合い」の基本として、「謙虚な態度」と「感謝の心」をもって、日常の生活で自然体にて実践願います。他者との「心がともなった触れ合い」は謙虚さと感謝に裏付けされた言動が大切であり、自分を高める機会となり望ましい人間関係に反映されるものです。

父母をはじめとした保護者の皆様には、お子様の卒業を心からお喜び申し上げます。三年前、入学時に「不安と希望を抱き」本校に入学させて頂きました。学校としましては、期待に応え、お子様の成長を願い教育実践してまいりましたが、これまでの、お子さまの頑張りを誉めてあげて下さい。本日の卒業式は本校にとって、一年生から三年生が在籍する儀式として最後となります。在校生、教職員一同「多くの寂しさを」感謝の気持ちで払拭し皆さんとお別れします。最後に、妹背牛町で時間を共有し、ご支援願った郷土、妹背牛町を愛し、ここで培われた絆を再会できる機会としましょう。卒業生の前途に幸多かれと強く願い、卒業式の式辞とします。

1 学年総合的な学習の時間

BM発表会

1月から取り組んできた調査・研究活動のまとめ、BM発表会が3月14日(水)に行われました。今年のテーマは「関西の経済活動」。次年度の見学旅行地である関西についての知識を深めるという意味もあった、今年のテーマ。クラスが6班に分かれアイデアを出し合い一生懸命取り組みました。当日のプレゼンテーションでは、「大阪のおばちゃんから経済を探る」「かわいさと食欲」等のユニークな個性あふれる発表やスライドなどの作品が発表されました。その頑張りが伝わる内容に、生徒達は達成感を得ることができたのではないのでしょうか。仲間と協力し合い取り組んだBM、この活動を次年度の諸活動につなげていっていただければと思っています。

注：BMとはBusiness of Moseushi の頭文字で、本校における総合的な学習の時間の略称です。



竹内 圭子(江別高等学校)
伊藤 淳子(旭川工業高等学校)

お世話になりました

お詫び 前回第84号の発行にて、「カーリング部大会報告」の原稿が一部欠けてました。深くお詫びいたします。